

親学講座 第2回講演会開催！

7月25日に中央公民館で、親学講座第2回講演会が開催されました。講師に広岡守穂さん（中央大学法学部教授）を招き、「妻が僕を変えた日」をテーマに90分間の講演と30分間の質疑応答が行われました。会場には約200人の方々が来場され、回収されたアンケートは110枚を超えました。アンケートには、「淡々と話す姿に派手さはないが、自分の体験を基に親の生き方を語った大変内容のある講演だった」「連れてこられたのに、話に入り込み涙が出てしまいました」「広岡先生を知らずに来ました。会場に来た時は少し眠かったのですが、途中から寝ている場合ではないと思い、前のめりで聞いていました」などの感想が多数寄せられました。



埼玉県スポーツ少年団 剣道交流大会

第33回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会が、8月16日に川越市総合体育館を会場に開催され、寄居成心館剣道スポーツ少年団が出場しました。



写真中央：西川さん 左から2番目：新井さん

小学生女子高学年の部では、北部ブロック予選を優勝で勝ち上がった西川茉佑さん（中小前田・桜沢小学校5年）が出場し、小学5・6年女子の部で見事準優勝に輝きました。

西川さんは、「決勝戦では、後一步のところで負けてしまいましたが、今度同じ相手と対戦できたら絶対に負けたくないです」と話してくれました。

また、中学生女子団体戦には新井美貴さん（花町・寄居中2年）が先鋒として出場し、第3位入賞となりました。

新井さんは、「スポ少の先輩たちと久しぶりに同じチームで試合ができて楽しかったです。地区予選で勝ったチームに県大会で負けてしまったのが悔しいです」と話してくれました。

人権擁護委員による 街頭啓発活動

8月1日に行われた寄居玉淀水天宮祭にあわせ、玉淀河原付近の街頭で、人権擁護委員の皆さんが人権啓発のうちの配布を行いました。

うちわを配りながら、平成21年度啓発活動重点目標である「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」を呼びかけました。

なお、人権擁護委員は毎月2回開催されている「心配ごと相談」の相談担当者になっています。お気軽にご相談ください。



図書館入館者 100万人を達成しました

7月30日に図書館の入館者数が100万人を達成しました。平成11年10月のオープンから10年目という区切りの時期での達成になりました。

記念すべき100万人目の利用者は、鉢形小学校4年生の内田憲太郎くんです。内田さん一家は読書好きで、毎週、図書館を利用しており、家族どうしで読書に関する話をしたり、おすすめ本を紹介しあうことも多いそうです。

「これを機会にもっと読書をしてほしいです」と母親のみどりさんは話してくれました。津久井町長から認定書と記念品を授与された憲太郎くんは「びっくりしたけど、うれしいです」と感激していました。



関口達也さん 全日本小学生ソフトテニス大会出場

第26回全日本小学生ソフトテニス選手権大会が、8月6日から9日に、岐阜県岐阜市市営早田テニスコート他で開催され、男衾小学校6年生の関口達也さん（牟礼）が男子ダブルスの部に出場しました。



関口さんは、順調に勝ち進みましたが、準々決勝で強豪の大阪府代表（優勝）と対戦し、接戦の末、セットカウント3対4で惜しくも敗退し、ベスト8という結果となりました。

関口さんは、「関東大会優勝の意地もあったので、準々決勝まで1セットも落とさず勝ち進みましたが、優勝したペアに負けてしまい悔しいです。全国制覇してナショナルチームに入りたかったです」と話してくれました。

原口文仁さん 夏の甲子園大会出場！

8月8日から第91回全国高等学校野球選手権大会が、兵庫県西宮市・阪神甲子園球場で開催され、原口文仁さん（上の原）が東京都東京代表・帝京高等学校チームの一員として出場しました。



帝京高等学校は、2回戦からの出場で、原口さんは正捕手として活躍し、2回戦敦賀気比高等学校（福井県）、3回戦九州国際大学付属高等学校（福岡県）と対戦し順調に勝ち進みましたが、準々決勝で県立岐阜商業高等学校に3対6で惜しくも敗れ、ベスト8という結果でした。

原口さんは、「3年生最後の大会で、たくさんの方に応援していただく中、全国の高校球児憧れの甲子園球場でプレーできたことにとても感動しています。この貴重な経験を活かして今後歩んで行こうと思います」と話してくれました。

なお、原口さんは、9月5日（土）から7日（月）にかけてアメリカで行われる、日米親善高校野球大会のメンバーにも選出されました。

いつも献血ありがとう！ 株式会社アタゴに日本赤十字社から感謝状

7月24日に埼玉会館で開催された「第40回愛の血液助け合いの集い」で、株式会社アタゴに「日本赤十字社感謝状」（活動継続30年以上）が贈られました。

日本赤十字社感謝状は、献血思想の普及、広報活動、献血者の募集等の労力奉仕並びに会場および駐車場等の便宜供与等において、献血推進に特に功労顕著であり、他の模範となる団体や個人に贈られるものです。

株式会社アタゴには、長年にわたり、社員のほか地域住民を対象に献血者の募集、会場の提供などをしていただいております。

「献血」は健康な私たちができる社会参加の一つであり、多くの人の命を救い、病気の人たちに生きる希望と力を与えます。贈られた感謝状は会社の皆さんの長年にわたる「献血」というボランティア活動に対するご理解、ご協力の賜物です。

